

グラビア	地域を支える人 稲毛一智さん 垣原将志さん・鳥取県倉吉市	1
発掘！地域の希望のタネ	島根県出雲市〈出雲 ぜんざい〉	5
給食のじかん	〈給食バイキング〉宮崎県五ヶ瀬町 興梠裕樹	6
書評	『3清流に殉じた漁協組合長』『奇跡の村—地方は「人」で再生する』『石木川のほとりにて—13 家族の物語』 菅原敏夫	8
焦点	喫煙問題と自治体 玉巻弘光	10

特集 〈幸福度〉とまちづくり

	幸せはローカルから—幸福度指標をめぐる課題と展望	広井良典	16
	福井県から考える〈幸福度〉—その意義と政策活用	佐々井司	25
	「幸せリーグ」のめざすもの	猪狩廣美	33
	ブータン王国のGNHとは何か	平山修一	40
各県自治研活動レポート	組合活動への入口としての自治研活動を—自治労静岡県本部	澤木悠史	48
各県自治研活動レポート	二十数年ぶりとなる秋田自治研集会の開催 東北・北海道地連合同自治研究集会兼秋田地方自治研究集会—自治労秋田県本部	鈴木匡尚	50
連載	まちゆうき！ 土佐自治研① 愛すべきキャラ誕生	森 尚子	52
土佐自治研分科会紹介	第3分科会◎どうする？ どうなる？ これからの自治体	伊藤昌弘	
	第4分科会◎“土佐さんぽ”～若者と考える自治体の未来～	澤木悠史	
	第5分科会◎人口減少社会をどう生き抜くか！?	貝瀬淳一	54
	第6分科会◎「ごめん(後免)」と「いーの(伊野)」で、みんなにやさしい公共交通	齋藤雅樹	
	第7分科会◎すべての人が共に暮らす社会づくり	満永正幸	
募集!	自治研レポート・論文 自治研チャレンジ・サポート		59
連載	『月刊自治研』を読む(第三季)④ 座談会のなかの八〇年代(その二)	篠田 徹	64
	自治体の雑誌案内		71
	次号予告・編集部から		72



『清流に殉じた漁協組合長』相川俊英著、コモンズ、1600円+税

『奇跡の村—地方は「人」で再生する』相川俊英著、集英社新書、740円+税



『石木川のほとりにて—13 家族の物語』村山嘉昭・写真&文 Patagonia、1389円+税 欄外 HP 参照

「もう一つの幸せリーグ」

「幸せリーグ」(本号特集参照) 以外にも独自の工夫で、幸せを追い求めている自治体があるに違いない。そうした自治体を紹介しようと本を探した。まず『奇跡の村—地方は「人」で再生する』(相川俊英、集英社新書)を読んだ。長野・下條村、群馬・南牧村、神奈川・藤野町。下條村は出生率回復で有名だが、南牧村は消滅可能性自治体全国ナンバーワン、藤野町は合併で実際に消滅してしまった。しかし、人を引きつけ、移り住む人にも幸福を与え続けている。お仕着せの地方創生ではない方法で。

読んでいて、気になることがあった。遠景に「ダム」が見えることがあるのだ。全国にダムは三〇〇〇もあるのだから、どこでも多少の影響はあるだろう。しかし立地は極端に偏っていて、山あいの自治体には大きな影響がある。

この疑問には著者が回答を用意していた。最近『清流に殉じた漁協組合長』が出版された。山形県が建設を進める最上小国川ダムに反対していた漁協の組合長が自死した。二〇一四年二月のことだった。取材を開始した著者は自然と地域社会を破壊するダム建設に慟哭する。魅力的な、本来ならば幸せを保障する地域社

会を、たまさかの経済効果と永久に続く自然破壊のために壊してよいのか。この本はクラウドファンディングによって出版が可能になった。地域の魅力に心寄せる数多くの人がいるのだ。

「クラウドファンディングとCSR」

そこからつながって、長崎県が進める石木ダムの反対運動を知った。どう見ても不必要なダムのために集落が消える。一三世帯が取り残され、土地収用も行われた。だが、この川原地区の住民は明るい。地域から元気が湧き出ているのは明らかだ。『石木川のほとりにて—13 家族の物語』(村山嘉昭写真・文)は幸せのお裾分けのような本だ。この本は Patagonia 出版から出されている。Patagonia は地名ではなく世界的なアウトドア用品の会社だ。会社は「ダム建設阻止活動をご支援ください」というページも公開している。反対ビラのイラストは住民のイラストレーター作品。不思議な希望に満ちている。

評者 菅原敏夫 本誌編集委員